



平成28年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成28年2月12日

上場取引所 名

上場会社名 竹田印刷株式会社
 コード番号 7875 URL <http://www.takeda-prn.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長
 問合せ先責任者 (役職名) 専務取締役経営統括本部長
 四半期報告書提出予定日 平成28年2月12日
 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(氏名) 山本 眞一
 (氏名) 井川 誠

TEL 052-871-6351

(百万円未満切捨て)

1. 平成28年3月期第3四半期の連結業績(平成27年4月1日～平成27年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年3月期第3四半期	26,191	6.5	417	176.3	465	135.6	266	311.4
27年3月期第3四半期	24,583	△4.9	151	△65.7	197	△59.5	64	△67.4

(注) 包括利益 28年3月期第3四半期 262百万円 (△4.0%) 27年3月期第3四半期 272百万円 (△38.8%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
28年3月期第3四半期	33.06	—
27年3月期第3四半期	8.02	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
28年3月期第3四半期	30,189	14,457	47.5
27年3月期	31,041	14,240	45.5

(参考) 自己資本 28年3月期第3四半期 14,340百万円 27年3月期 14,123百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
27年3月期	—	5.00	—	6.00	11.00
28年3月期	—	5.00	—	—	—
28年3月期(予想)	—	—	—	6.00	11.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成28年3月期の連結業績予想(平成27年4月1日～平成28年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	円 銭
通期	36,000	3.7	550	14.0	620	12.1	280	33.4
								34.78

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	28年3月期3Q	8,781,000 株	27年3月期	8,781,000 株
② 期末自己株式数	28年3月期3Q	731,701 株	27年3月期	731,652 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	28年3月期3Q	8,049,314 株	27年3月期3Q	8,066,054 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了しております。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)2ページ「(3)連結業績予想などの将来情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、政府、日銀の経済・金融政策を背景に、企業収益や雇用環境が改善し、緩やかな回復基調で推移したものの、中国経済をはじめとする海外景気の下ぶれ懸念のほか、個人消費の回復の遅れ、暖冬の影響による季節商材の販売不振、第3四半期末からの円高傾向などの影響から、先行きの不透明な状況が続いております。印刷業界におきましては、広告宣伝媒体の多様化と印刷媒体の減少、用紙価格の高止まり、受注競争の激化による単価の下落により、引き続き厳しい経営環境にあります。

当社におきましては、「Hard+Soft+Heart」を経営理念に掲げ、良いものづくりには、設備などのハードウェアと、技術などのソフトウェアに加え、心をこめた製品やサービスを通じてお客様に感動やよろこびをお届けするという顧客本位を貫くハートが重要であるとの考えに基づき、お客様満足度No.1を目指しております。経営計画において売上・生産・受注の量的確保に向けた創注活動の強化を重点施策と定め、提案力の強化を進めております。お客様の潜在的な課題・ニーズを発見しその解決策をご提案する活動を展開するとともに、多様な付加価値提案を行い、新規顧客の開拓と既存顧客への深耕を進めてまいりました。また目標利益の達成に向け、コスト管理の強化や生産性の向上を図り、収益力の向上に努めてまいりました。

こうした取り組みの結果、当社グループの当第3四半期連結累計期間における売上高は261億91百万円（前年同四半期比6.5%増）となりました。利益面では、営業利益4億17百万円（前年同四半期比176.3%増）、経常利益4億65百万円（前年同四半期比135.6%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益2億66百万円（前年同四半期比311.4%増）となりました。

当第3四半期連結累計期間におけるセグメント別の状況は、以下のとおりであります。

(印刷)

印刷事業では、デジタル技術や物流機能を組み合わせた付加価値提案や、動画などを活用した映像メディア提案を展開し、新しい需要の開拓に注力いたしました。また、従来十分開拓できていなかった業界や得意先企業へのシェア拡大を進めてまいりました。さらに、イベント企画・運営の受託などのBPOサービスを強化し、お客様の課題解決を通じたお客様満足度の向上に注力いたしました。半導体関連マスク事業では、新規顧客開拓の強化を図ったほか、中国を中心とした海外事業の強化を進めてまいりました。

このような取り組みの結果、印刷事業の売上高は161億74百万円（前年同四半期比0.1%減）となりました。営業損益は、予算管理の強化、内製化の促進による外注費の削減などに取り組んだほか、子会社の業績改善があり、1億3百万円の営業利益（前年同四半期は6百万円の営業利益）となりました。

(物販)

物販事業では、印刷関連事業の高付加価値化と市場創造につながる商品提案や、品質向上・環境性能向上など差別化に向けた商品提案を進めるとともに、自社ブランド商品の展開を強化するほか、キャンペーン活動を強化し機械等の販売促進活動を展開いたしました。

このような取り組みの結果、物販事業の売上高は106億17百万円（前年同四半期比16.4%増）となりました。営業利益は2億94百万円（前年同四半期比130.3%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末の資産の部は、受取手形及び売掛金の減少などにより、前連結会計年度末に比べ8億52百万円減少し、301億89百万円となりました。

負債の部は、1年内返済予定の長期借入金の減少などにより、前連結会計年度末に比べ10億69百万円減少し、157億31百万円となりました。

純資産の部は、前連結会計年度末に比べ2億17百万円増加し、144億57百万円となり、自己資本比率は47.5%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

現時点での平成28年3月期の業績予想は、平成27年11月9日に公表いたしました通期の連結業績予想の数値から変更はございません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動
該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

（企業結合に関する会計基準等の適用）

「企業結合に関する会計基準」（企業会計基準第21号 平成25年9月13日。以下「企業結合会計基準」という。）、「連結財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第22号 平成25年9月13日。以下「連結会計基準」という。）及び「事業分離等に関する会計基準」（企業会計基準第7号 平成25年9月13日。以下「事業分離等会計基準」という。）等を第1四半期連結会計期間から適用し、支配が継続している場合の子会社に対する当社の持分変動による差額を資本剰余金として計上するとともに、取得関連費用を発生した連結会計年度の費用として計上する方法に変更しております。また、第1四半期連結会計期間の期首以後実施される企業結合については、暫定的な会計処理の確定による取得原価の配分額の見直しを企業結合日の属する四半期連結会計期間の四半期連結財務諸表に反映させる方法に変更しております。加えて、四半期純利益等の表示の変更及び少数株主持分から非支配株主持分への表示の変更を行っております。当該表示の変更を反映させるため、前第3四半期連結累計期間及び前連結会計年度については、四半期連結財務諸表及び連結財務諸表の組替えを行っております。

企業結合会計基準等の適用については、企業結合会計基準第58-2項(4)、連結会計基準第44-5項(4)及び事業分離等会計基準第57-4項(4)に定める経過的な取扱いに従っており、第1四半期連結会計期間の期首時点から将来にわたって適用しております。

これに伴う当第3四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益に与える影響はありません。また、当第3四半期連結会計期間末の資本剰余金に与える影響はありません。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成27年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,804,145	5,101,707
受取手形及び売掛金	9,461,496	8,611,462
商品及び製品	763,988	672,986
仕掛品	288,373	654,591
原材料及び貯蔵品	154,683	143,479
繰延税金資産	208,232	208,232
その他	489,864	550,359
貸倒引当金	△92,896	△102,696
流動資産合計	16,077,889	15,840,123
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	3,662,968	3,497,484
機械装置及び運搬具(純額)	687,574	587,881
土地	5,666,802	5,686,485
リース資産(純額)	1,054,997	870,634
その他(純額)	151,297	147,587
有形固定資産合計	11,223,640	10,790,072
無形固定資産	232,662	198,819
投資その他の資産		
投資有価証券	2,415,511	2,317,505
繰延税金資産	335,847	334,578
その他	889,033	873,464
貸倒引当金	△158,921	△181,834
投資その他の資産合計	3,481,471	3,343,714
固定資産合計	14,937,774	14,332,605
繰延資産	26,240	16,400
資産合計	31,041,904	30,189,129

(単位: 千円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成27年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	7,393,603	3,940,779
電子記録債務	—	3,660,862
短期借入金	990,000	972,523
1年内返済予定の長期借入金	782,268	381,473
リース債務	277,618	249,227
未払法人税等	128,211	82,717
賞与引当金	440,241	208,963
その他の引当金	33,335	22,064
その他	1,311,102	1,007,239
流動負債合計	11,356,381	10,525,850
固定負債		
長期借入金	1,406,568	1,329,713
リース債務	822,035	657,713
長期未払金	130,893	111,525
退職給付に係る負債	2,850,888	2,876,118
資産除去債務	184,317	187,452
その他	50,453	43,284
固定負債合計	5,445,156	5,205,807
負債合計	16,801,538	15,731,658
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,937,920	1,937,920
資本剰余金	1,793,446	1,793,446
利益剰余金	10,531,923	10,729,653
自己株式	△538,464	△538,489
株主資本合計	13,724,825	13,922,530
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	776,475	723,393
為替換算調整勘定	—	25,039
退職給付に係る調整累計額	△377,413	△330,585
その他の包括利益累計額合計	399,062	417,847
非支配株主持分	116,478	117,092
純資産合計	14,240,366	14,457,471
負債純資産合計	31,041,904	30,189,129

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第3四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年12月31日)
売上高	24,583,853	26,191,768
売上原価	20,161,176	21,489,275
売上総利益	4,422,676	4,702,492
割賦販売未実現利益戻入額	979	979
差引売上総利益	4,423,656	4,703,472
販売費及び一般管理費	4,272,427	4,285,570
営業利益	151,228	417,901
営業外収益		
受取配当金	30,037	36,495
受取賃貸料	13,641	14,590
貸倒引当金戻入額	16,531	7,583
その他	44,802	37,705
営業外収益合計	105,013	96,374
営業外費用		
支払利息	44,285	31,138
その他	14,476	17,971
営業外費用合計	58,761	49,109
経常利益	197,480	465,166
特別利益		
固定資産売却益	1,639	1,110
投資有価証券売却益	—	71,670
特別利益合計	1,639	72,780
特別損失		
固定資産処分損	27,963	26,997
会員権評価損	840	47,000
設備移設費用	5,077	—
その他	2,560	240
特別損失合計	36,441	74,237
税金等調整前四半期純利益	162,678	463,709
法人税等	92,178	193,432
四半期純利益	70,500	270,277
非支配株主に帰属する四半期純利益	5,798	4,114
親会社株主に帰属する四半期純利益	64,702	266,163

(四半期連結包括利益計算書)
 (第3四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成26年4月1日 至 平成26年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成27年4月1日 至 平成27年12月31日)
四半期純利益	70,500	270,277
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	177,109	△53,082
為替換算調整勘定	—	△1,906
退職給付に係る調整額	25,381	46,828
その他の包括利益合計	202,491	△8,161
四半期包括利益	272,991	262,116
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	267,193	258,002
非支配株主に係る四半期包括利益	5,798	4,114

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

セグメント情報

- I 前第3四半期連結累計期間(自平成26年4月1日至平成26年12月31日)
報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント		計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	印刷	物販			
売上高					
(1) 外部顧客への売上高	16,179,274	8,404,579	24,583,853	—	24,583,853
(2) セグメント間の内部売上高 又は振替高	7,139	717,384	724,523	△724,523	—
計	16,186,413	9,121,963	25,308,377	△724,523	24,583,853
セグメント利益	6,103	127,756	133,859	17,369	151,228

(注) 1 セグメント利益の調整額には、セグメント間取引の消去が含まれております。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

- II 当第3四半期連結累計期間(自平成27年4月1日至平成27年12月31日)
報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント		計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	印刷	物販			
売上高					
(1) 外部顧客への売上高	16,162,678	10,029,089	26,191,768	—	26,191,768
(2) セグメント間の内部売上高 又は振替高	12,140	588,466	600,607	△600,607	—
計	16,174,819	10,617,556	26,792,375	△600,607	26,191,768
セグメント利益	103,467	294,227	397,695	20,206	417,901

(注) 1 セグメント利益の調整額には、セグメント間取引の消去が含まれております。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。